

県外派遣報告書

令和2年2月26日

報告者：水間光亮

大会名：第2回全日本社会人バスケットボール選手権大会 九州ブロック予選

会場：諸富文化体育館・芦刈文化体育館

期間：令和2年2月8日～令和2年2月9日

2月9日（日） 講義 山崎氏

水間2ゲーム目担当で、講義途中で退席。

本県前田氏の講義内容をご参照ください。

【担当ゲーム①】

2月8日（土） 男子1回戦 MTC（宮崎1位）VS scrap（熊本2位）

CC：柿原（福岡） U1：水間 U2：大久保（佐賀）

【PGC】：①3POのメカの確認

②ガイドラインの確認

③映像等を用いてゲーム中起こりそうな現象の確認

【MTG（クルーMTG）】

ゲーム中、check-in、check-outが上手くできてなく、メカが崩れそうな場面が2、3度あった。また、センターのプライマリーで始まったプレーをトレイルやリードから吹いてもらったケースが何度かあった。自分の中で、もっと積極的に判定していくべきだったと感じた。

鹿児島県の前田氏がゲームを見て、センターの時にパラレルのまま動いてない状態で、プレーを見ることが多かったので、クロスステップ等を用いてプレーを見た方が良いとアドバイスを頂いた。

【担当ゲーム②】

2月9日（日） 男子準決勝 HAWKS（福岡1位）VS 浦上自動車学校（長崎2位）

CC：金岩（佐賀） U1：渡慶次（沖縄） U2：水間

【PGC】：①3POのメカの確認

②ガイドラインの確認

③パンフレット・前日のゲームの情報等からプレイヤーの情報の把握

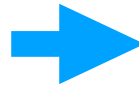
【MTG（クルーMTG）】

リバウンドのところで、大きなインパクトの競り合いがあった。（PGCの際にアクティブマッチアップになりそうな選手に挙げていた選手同士。）その際、トレイルからニューリードに行こうとプレーから目を離れた時に接触が起きてしまった。判定は、リードが判定した（オフェンス側のファール）。ゲーム後映像で見たら、ディフェンス側の選手の手が引っ掛けてるように見える。

アクティブマッチアップのところだったので、トレイルがプレーの終わりまで見てニュートレイルへ行っても良かったのではという反省点が出た。



この時点では、目を当ててるが。。。



接触のあった瞬間は、リードへ走り出している。

【全体を通しての感想】

今回、初めての社会人大会への派遣ですが、高いレベルのゲームを担当させてもらい、非常に内容の濃い2日間でした。

その中で、今の自分の課題（check-in、check-out、タイマーの管理）に対する、意識をもっともたないといけないと感じた。

また、ゲーム中の選手・ベンチとのコミュニケーションの取り方など、今後取り組んで行かないといけない課題もみえました。今回の経験を今後の課題とし日々取り組んでいきます。

最後に、開催権の佐賀バスケットボール協会審判長及び佐賀県協会の皆様、原田審判長はじめ鹿児島県バスケットボール協会の皆様へお礼申し上げます。ありがとうございました。